

あなたの笑顔が私の喜び

パリ20区、ルトレ通り。
マドとイザベルの出会い…
世代を超えた二人の女性の
温かな交流を通し、
老いと人生を見つめた珠玉の感動作。



夕映えの道

Rue du Retrait
un film de René Féret

監督・脚本/ルネ・フェレ 原作/ドリス・レッシング「夕映えの道」(集英社刊)
撮影/フランソワ・ラティグ 音楽/バンジャマン・ラファエリ 出演/ドミニク・マルカス、マリオン・エルド、ルネ・フェレ
協力/ユニフランス東京◆配給/角川大映映画

世界の名画を見る会 vol.22 企画・構成 高野悦子



- 講演 (14:00~)
高野悦子「豊かな老後のために地域社会ができること」
- 上映 (15:00~)
「夕映えの道」(フランス/2001年/カラー/90分)

2004 5月23日(日) 開場13:30
開演14:00

黒部市国際文化センター コラーレ(カーターホール) 全席指定 1,500円

- この公演は黒部市の助成により低料金に設定しております。
- 5歳未満のお子さまの入場はご遠慮願います。
- 公演中の一時保育(無料)を希望される方は事前にご連絡ください。

■主催:財団法人黒部市国際文化センター ■共催:北日本放送 ■後援:黒部市 黒部市教育委員会 月刊 Takt

■プレイガイド

黒部市	コラーレ	☎(0765)57-1201
	メルシー	☎(0765)54-2221
魚津市	新川文化ホール	☎(0765)23-1123
	魚津サンプラザ	☎(0765)24-3030
入善町	コスモホール	☎(0765)72-1105
	コスモ21	☎(0765)74-9100
宇奈月町	宇奈月国際会館	☎(0765)62-2000
輪日町	アスカ	☎(0765)82-2000
滑川市	サン・アビリティーズ	☎(076)475-3342
富山市	インフォーマット [市民プラザ]	☎(076)491-0110
	[CiC駅前店]	☎(076)444-7013
津町	アルプラザ富山(ファボーレ内)	☎(076)466-1828
高岡市	高岡大和	☎(0766)27-1774

●お問い合わせ・チケットの申込み●

コラーレ

富山県黒部市三日市20番地
TEL. 0765-57-1201
FAX. 0765-57-1207
<http://www.colare.jp>
e-mail: info@colare.jp

開館時間: 9:30~22:30(土曜~23:00)/毎週水曜休館

夕映えの道

Rue du Retrait
un film de René Féret

2001年/フランス映画/フランス語版/カラー/35mm/ヴィスタサイズ/
モノラル/5巻/2,470m/90分 協力:ユニフランス東京 配給:角川大映映画



見知らぬ女性たちは火打石のようにぶつかり、擦りあい、火花を発する。そして、その火が互いを照らしあい、温めあう。善良さ、愛、そして思いもよらぬ喜びが生まれる。—フィガロ—

互いに助けあい、連帯し、そして見知らぬ人を愛するということが、生きるために不可欠なものであることを語りかけてくる。—ル・モンド—

人それぞれは地層のようであり、歴史の断片である。この作品の特質はこの美しい直感から生じている。二人の女優は完璧であり、余韻が残る。—リベラシオン—



パリの下町、ルトレ通りに結実した ルネ・フェレ監督の思い

パリの懐かしい風情が残る20区ルトレ通り。この街角で出逢った二人の女性が、世代や血縁を超え、共に老いと人生を見つめてゆく。原作は英国を代表する女性作家ドリス・レスリングの長編小説。ルネ・フェレ監督がこの原作の映画化を心に決めたのは、母親を亡くした悲しみを忘れられなかった自身の体験があったからだという。

フェレ監督は、1945年フランス生まれ。デビュー作「ボールの物語」(75)でジャン・ヴィゴ賞を受賞後、コンスタントに作品を発表し、誠実な作風が高い評価を得ているベテランだ。本作「夕映えの道」でも人間の普遍的テーマを見事にとらえ、フランス公開時には多くの賛辞を受けた。

だが当初「夕映えの道」の製作には、多くの困難が伴った。この作品のテーマを生かすためには、大手スポンサーの援助に頼れないと悟ったフェレ監督は自らプロダクションを立ち上げ、原作の舞台ロンドンを自宅周辺のルトレ通りに置き換え撮影を敢行する。主役以外のキャストには近所の住人、通行人、店舗がそのまま登場し、撮影はデジタルビデオカメラで行われた。マド役は、舞台や映画で長いキャリアを持つドミニク・マルカス、現在82歳。イザベル役のマリオン・エルドは監督の隣人だ。マリオンは長く映画界を離れていたが、今回監督の希望により10数年ぶりに女優に復帰。イザベルの部屋は実際の彼女の部屋で撮影された。



また、イザベルの元夫ポールをルネ・フェレ監督自身が、そしてイザベルの若い恋人フレッドを、監督の息子ジュリアン・フェレが演じている。

音楽を担当したバンジャマン・ラファエリは監督の階下に住む友人。美しい旋律のアコースティックギターで、作品を盛り上げた。編集のファビエンヌ・カマラはフェレ監督夫人である。

原題は今回の「手作り」の仕事の全ての舞台となった「ルトレ通り」。このタイトルには、情熱と友情で製作面の困難を乗り越えたスタッフ、キャストの思いが込められている。

異なる人生を歩んできた 二人の女性の間にも生まれる、温かな絆。

パリの下町ルトレ通り。この街角にひっそりと孤独に暮らす老女がいた。会社を経営している独身の中年女性イザベルは、偶然に出会った老女マドをなぜか放っておくことができない。マドは自分の生活に他人が干渉することを極端に嫌っていたが、あくまで友人として振舞うイザベルには、徐々に心を開くようになる。そしてイザベルもマドと接するうちに、まだ遠いと思っていた“古い”の厳しい現実を知るようになる。ある日、マドはイザベルに自分の生い立ちを語った。マドの人生は、悲しみと絶望の連続だった。そんな中でも楽しかった若い日の思い出を生き生きと語るマドの話に耳を傾けるうち、イザベルは不思議な安らぎを感じるようになる……。

